

さいたま市教育委員会  
教育長 細田 真由美様

2020年7月8日

さいたま市教職員組合  
執行委員長 大澤 博

## 小学校英語民間試験導入についての公開質問状

- 1 今年度の大学入試で導入予定だった英語民間試験が中止になりましたが、それが中止になった原因をどう考えておられるのですか。特に、各界からあれほどまでに反対世論が高まった理由をどのように捉えておられるのですか。
  - 2 小学校英語民間試験の導入と意図
    - (1) 民間の4技能試験利用については、公平性や客観性等の面で様々な課題が指摘されています。にもかかわらず、全6年生を対象にどうして民間の4技能試験を行うのですか。それを行わないと、どうしてGSのカリキュラム等の検討ができないのですか。
    - (2) 試験結果によって、例えば得点の低い技能の習熟を図るため年間計画等の見直しが行われるのですか。
    - (3) すでに実施されている中学校の英語検定協会「IBA」やペネッセ「GTEC」などの民間試験についても、導入した意図をお答えください。また、様々な問題点が明らかになった今、今後の扱いをどうされていくのかお答えください。
    - (4) 数ある民間英語試験の中で「英語トライアル」を選定した基準、理由をお答えください。同様に中学校で「IBA」や「GTEC」を導入した基準、理由についてもご回答ください。
  - 3 今年度、休校や児童への配慮のために全国学力調査等が中止になりました。多くの授業や活動が削られ、土曜授業8回の実施、長期休暇も短縮される中で、なぜ今年この時期に新規テストを実施するのですか。
  - 4 今回の民間試験実施の決定過程と実施の伝達について
    - (1) 今回の試験はいつ誰が発案し、どのような会議を経て決定されたのですか。その会議の参加者、議事録を公開してください。
    - (2) 決定の過程で、各学校関係者（校長、GS担当者等）とはどういう相談をして決めたのですか。それとも教育委員会が独断で決定したのですか。
    - (3) すでに実施されている中学校での民間英語試験についても、上記（1）・（2）の回答を求めます。
    - (4) 6月10日付資料に、保護者向けの配布文例が添付されていましたが、決定した市教育委員会から保護者への説明は行わないのですか。「詳細は、別紙児童向け案内ちらしもご覧ください」とありますが、添付されているものには「詳細」は記述されていないと思われます。
    - (5) 今回の試験実施に関してマスコミ発表は行うのですか。その判断理由と合わせてお答えください。
  - 5 この「英語トライアル」というのはどのような形式のテストなのですか。回答の仕方はどのようなものなのですか。支援を要する児童にはどのような配慮がなされるのですか。
  - 6 実施後に、個人や学校に対してどのように結果が戻るのですか。また、教育委員会はどのような結果を見ることができるのですか。更にそれをどのように活用する予定なのですか。
  - 7 民間団体や教育委員会内で、児童生徒の成績や個人情報がどのように管理されるのですか。
  - 8 民間英語試験に関わる費用について
    - (1) 「英語トライアル」実施には児童一人当たりの費用はいくらですか。また市としては総額いくら支出する予定ですか。今後費用が変わった場合も継続して支出する予定ですか。
    - (2) すでに実施されている中学校の民間試験についても生徒一人当たりの費用と全体の総額（事後指導や各種フォーラム等の費用も含めて）の回答を求めます。
  - 9 「英語トライアル」実施にあたり、各学校で準備に必要な作業、返却やフィードバックなどの時間はどの程度になると考えておられますか。
  - 10 今後、さいたま市立学校において民間英語試験を継続して行う予定ですか。学年を広げたり経年変化を測定したりすることを検討しておられるのですか。

さわやか相談室の先生と話す機会がありました。

「現場が大変だから、スクールカウンセラーの勤務日数増やせないですかね。」と言つたら、先生は、「分散登校の時には、普段さわやか相談室に来ている生徒もみんな上(教室)に行けていたんですよ。人数が増えて40人になつたらまた行けなくなつてしまつたんです。ある生徒は、『上に行つて授業受けた。分かるから。でも、行けない。』と言つてましたよ。」と話されました。

確かに、分散登校まではクラスで過ごさせていた子どもが、通常登校になり行けなくなつてしまつたという現実があります。こういう声をたくさん集めて、少人数学級につなげたいなと思ひます。

小6と中3で少人数学級を行うといふ話もある中、休日を減らして授業日数を確保したり、学習内容をこなすことをばかり考えている市教委やそうせざるを得ない現場について、ちょっと立ち止まって考えることは出来ないのでしょうか。

私たちは、もつと子どもの側に立つ必要があると思ひます。

閑話

